

夢育通信

冬号 令和4年12月吉日発行

発行者 宇都宮市立清原北小学校長
小口省吾

【多くの方々に支えられて】

令和4年度も、残すところ3カ月余りとなりました。コロナ禍ではありますが、本校の教育活動に多くの方が関わってくださり、無事に行事等を行うことができました。ありがとうございました。

11月5日には『きよきた秋まつり』、12月3日には『夢育劇場』が行われました。本番に向けて、外部講師の先生方に、朗読の仕方や歌い方、演技の仕方などをご指導いただきました。

10月4日・24日には、宇都宮アナウンスアカデミーの小田島建夫先生が、3・4年生に『外郎売』の暗唱や宇都宮の民話・新美南吉作品の朗読の仕方をご指導くださいました。聞いている人に内容が伝わるために、声量と活(滑)舌に気をつけるようアドバイスいただきました。



10月13日には、民謡歌手の古橋恵先生と尺八奏者の菊地捷夫先生が、全校児童に『鬼怒の船頭唄』をご指導くださいました。一つ一つの音を大切にすることや言葉をはっきりして相手に伝わるように歌うとよいことを教えていただきました。



10月19日と11月8日・28日には、こどもミュージカルどりーみんぐの稲見けい子先生・朋子先生が、1・3・5年生のミュージカルの演技・歌をご指導くださいました。今年は新しい曲を取り入れたり、新しいキャラクターが登場したりするなど新たな展開に挑戦しました。見ている人に気持ちが伝わるように、目線や表情などを考えて演技することやセリフがないときの演技の仕方をアドバイスいただきました。



11月17日と24日には、栃木県演劇協議会の山縣恒雄先生と劇団三十六計の戸田古道先生が、2・4・6年生の創作劇の演技をご指導くださいました。見ている人たちに気持ちが伝わるように、ト書き(台本に書かれたセリフ以外の登場人物の動作や行動・心情などを指示した文章)をよく読み、気持ちを込めてセリフを言うことよいことなどを教えていただきました。



子どもたちは、教えていただいたことを胸に熱心に練習に取り組んで演技やセリフ・歌に磨きをかけ、本番ではその成果を見事に披露することができました。



今年の夢育劇場は、コロナ感染拡大状況により、来場者の人数制限をさせていただきました。来年度は多くの皆様にご覧いただけるようになることを願っています。

冬も元気な清北小！



【笑顔いっぱいの12月！ 1年生】

生活科の時間に、自分で育てたアサガオのツルを使ってクリスマスリースを作りました。夢育劇場では生き物と雨を表現し、元気なダンスや歌を発表することができました。(小堀)



【縄跳びの跳び方教えます！2年生】

体育の授業で、1年生に前跳びや片付けるときの結び方を教えました。縄の回し方を優しく教えたり、励ましの声を掛けたりするなど、やる気満々。すてきなお兄さん、お姉さんの顔が見られました。(小川)



【寒さに負けずに元気いっぱい3年生】

板戸ふれあい学習で大杉神社、坂本家、板戸河岸に行きました。当日は風が強かったのですが、元気に歩き、しっかりと見学をすることができました。休憩時間も一里塚で元気に遊ぶ姿が見られました。(大塚)



【板戸の鳥はおまかせ 4年生！】

板戸ふれあい学習で、探鳥会を行いました。日本野鳥の会の先生方に一里塚付近に飛んでいる鳥たちの名前や特徴を教えていただきました。たくさんの種類の鳥を探することができました。(川原田)



【New ミュージカル！5年生】

今年は稲見先生に新曲の指導をしていただき、5年生の活躍の場面が増えたミュージカルを披露しました。小学校最後のミュージカルを全員で完成させることができ、達成感でいっぱいの5年生です。(阿久津)



【最高の6年生で最高の劇！】

台本のアイデアを練るところからプログラミング作り、練習、準備や片付けまで、みんなで協力して劇を作り上げ、最高学年として悔いの残らない最高の夢育劇場にすることができました。(石田)

皆様、どうぞよいお年をお迎えください。